

調査票(工賃向上計画シート)の記入要領

「山口県工賃向上計画（第5期）」は、令和6年度から8年度までの3年間における就労継続支援B型事業所等で働く障害者の工賃を計画的に向上することを目指し策定するものです。

本計画の目的達成のために最も重要なことは、各事業所が具体的な事業伸張の方策を立て、それぞれが目標を達成し、その成果を利用者に還元していくことにあります。

そのためには、「工賃向上計画シート」の作成を通じて、現状の評価と課題の抽出を行い、今後の目標と具体的な取組のプロセスを設定し、事業所職員、利用者及び家族に示し、理解を得て進める必要があります。

本記入要領では、「シート」の記入の方法について御説明いたしますので、『記入例』と併せてご確認ください。

また、「シート」の作成には、指導員等の限られた人だけでなく、事業所内部や関係者間において十分に議論をされ、工賃向上に向けた取組について、関係する多くの人の参画のもと、計画の推進体制を確立していただきますようお願いいたします。

1. 事業所の概要・・・事業所のプロフィールを記入する項目です。

- ・「定員数」、「現員数」、「職員数」は令和6年4月1日現在の状況を記入してください。
- ・「事業所の特徴」は、現在の状況や、将来のイメージ、工賃向上に取り組む考え方等を記入してください。
- ・「工賃の決定、支払方法」は、それぞれの利用者に支払う工賃の計算方法（能力評価や経験年数等）、支払方法（月給、日給、ボーナス等）、決定のプロセス（月に1度の所内会議で決定等）について記入してください。

2. 工賃の現状と目標・・・工賃向上計画の目標値を記入する項目です。

- ・平成3年度～令和5年度は、実績を記入してください。
- ・令和6年度～令和8年度は、目標値を記入してください。

※令和5年度実績は、先般作成された「就労継続支援B型に係る基本報酬の算定区分に関する届出書」に記載の金額と一致させてください。

3. 各就労活動の現状分析・評価と取組の方向性・・・就労活動ごとに評価を行い、今後の方向性を探る項目です。全体像をつかみつつ、収益性と将来性・意義の大きく二つの側面から評価します。

- ・主な就労活動を4つまで挙げていただき、分析・評価を行います。
- ・活動①～④以外の活動実績は「その他の活動」にまとめて記入してください。
- ・活動①～④と「その他の活動」の「年間売上高」及び「支払工賃総額」のそれぞれ合計は、前の項目「2. 工賃の現状と目標」の表中、「令和5年度」の欄に記入した数値と一致させてください。

【活動の収益性】

どの就労活動が、どれくらい工賃に寄与しているのかを詳しく見るために、就労活動ごとの「年間売上高」、そこから原材料費など直接的な「原価」を差し引いた後の「粗利益額」、作業に携わる人数を考えて「一人当たりの粗利益」を評価していただく項目です。

- ・「活動の収益性（令和5年度）」には就労支援会計における数値を各就労活動別に仕分けして記入してください。
- ・原価の記入について

①仕入経費・原材料費

当期仕入・原材料高 (a)	
+ 期首在庫高 (b)	
- 期末在庫高 (c)	
仕入・原材料費 (d) = (a+b-c)	

⇒ 表中「I」に記入

(在庫管理（棚卸）をしていない事業所は、当期仕入・原材料高を記入してください。)

②労務費・パート人件費

就労支援会計における工賃以外の人件費、福利厚生費等のうち、当該活動にかかる額を記入してください。

(複数の活動にまたがって働いておられる場合は、作業時間により按分してください。)

③販売費・一般管理費

販売経費、光熱水費、消耗品費、通信運搬費、備品購入費、リース料、家賃、減価償却、租税公課などを記入してください。

- ・「利用者延人数」は各月ごとに工賃を支払った利用者数の年間累計を記入してください。利用者が複数の活動にまたがる場合は、作業時間により按分してください。
- ・「支払工賃総額」は、工賃として利用者に支払われた年額を記入してください。

【活動の将来性、意義】

「活動の収益性」が、数字を元に重要性を検討していただくのに対し、数字に表れにくい将来性や、利用者のモチベーション等に基づいて、評価していただくことが目的です。

- ・「活動の将来性」、「活動の意義」は設問に対してあてはまるものを5段階評価で記入してください。

5：とてもあてはまる 4：ややあてはまる 3：どちらともいえない

2：あまりあてはまらない 1：全くあてはまらない

【課題と取組の方向性】

「現状の分析及び評価」を中心に、トータルに活動を見直し、各活動ごとに「課題」「方向性」を十分議論し、その内容を記入してください。

- ・（課題）については、「現状の分析及び評価」において明らかとなった、課題を記入してください。
- ・（方向性）は、活動の収益性や将来性、意義を考慮し、今後、計画的に工賃を向上させるために各活動のウェイトをどうすべきか検討の上、該当するものを選んでください。

4. 年次計画・・・令和6年度から8年度ごとに取り組む改善目標を設定し、その取組方法を具体的に記入する項目です。

- ・毎年度当初に、活動ごとの目標・取組方策を定め、年度末にその評価を行います。初回は【R6年度】の欄に記入していただきます。
- ・「3 各就労活動の現状分析・評価と取組の方向性」で検証を行った活動の中から、その年度において、特に力を入れて取り組みたい活動を3つ以内で選択して記入します。また、新規に取り組む活動を挙げていただいても構いません。
- ・「改善目標」は、数量、金額等、可能な限り具体的な表現で記入してください。ただし、利用者の作業意欲など、「事業の意義」に着目した目標の場合は、達成時のイメージ等でも構いません。
- ・「目標達成への具体的な取組・方策」は、何を、どのように取り組むのか等、できるだけ具体的に記入してください。
- ・「評価」の欄は年度末に記入するため、今は記入しないでください。
- ・【R7年度】、【R8年度】の欄はそれぞれの年度当初に記入するものです。今回の調査回答においては記入不要です。

5～7. アンケート調査・・・現状把握及び今後の課題等についての照会です。

- ・書式に指定はありませんので、ご意見をお聞かせください。

「工賃向上計画」の作成については、これで終了です。お疲れさまでした。